

平山ホールディングス、 IR 資料に AI 生成漫画を 2026 年 3 月より活用

～個人投資家時代の「伝わる開示」へ新たな試み～

製造業支援の株式会社平山ホールディングス（代表取締役社長 平山善一、本社：東京都港区）は、2026年3月12日に公表した投資家向け IR セミナー資料において、AI で生成した漫画表現を活用しました。

IR 資料において、漫画を活用した表現を取り入れる取り組みはまだ限定的です。平山ホールディングスは、業績や成長戦略といった定量情報に加え、製造現場で培ってきた考え方や企業文化を、視覚的に伝わりやすい形で表現することを目的として新たな取り組みを始めました。



漫画で説明した一例(IR 資料に掲載)

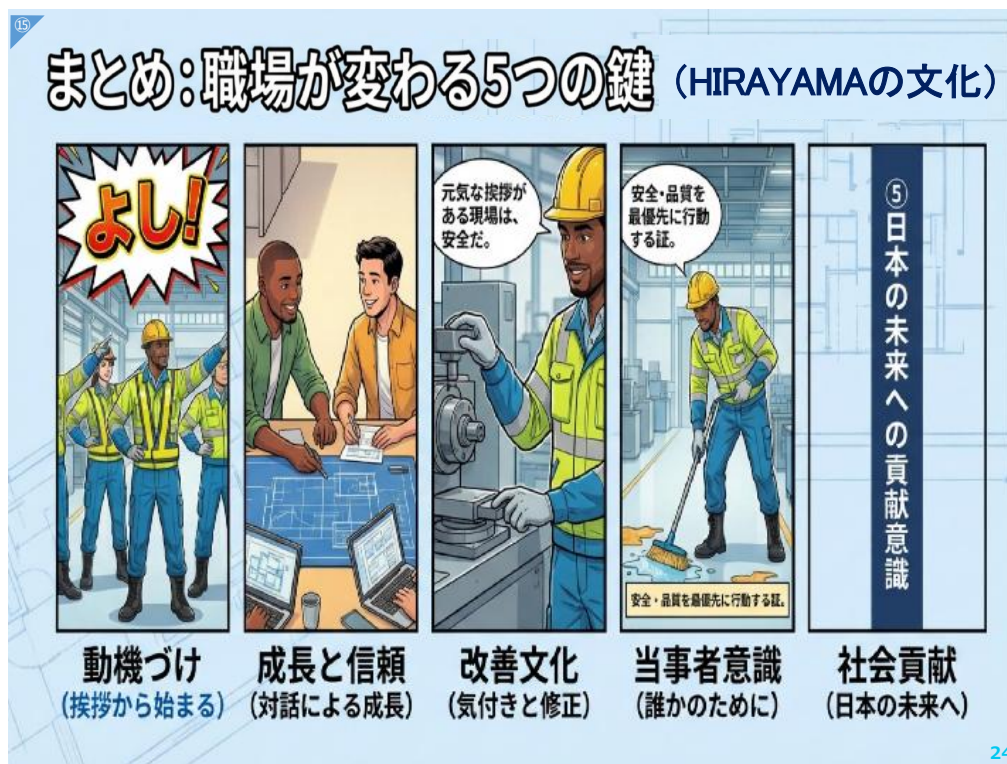
■AI 生成漫画を活用した背景

東京証券取引所などが公表している「2024 年度株式分布状況調査」によると、**個人株主数は、前年比 914 万人増加し、8,359 万人**となっています。同所は、企業に対して、現状分析や成長戦略・目標について投資家に「分かりやすく開示」することを求めています。また、IPA（情報処理推進機構）の「DX 動向 2025」では、日本の大企業で生成 AI の導入が進む一方、業務全般や全社的な活用にはなお広がり余地があることが示されています。

グループの株式会社平山は、**経済産業省が定める「DX（デジタルトランスフォーメーション）認定事業者」に 2024 年 6 月認定**されています。平山ホールディングスは、製造支援企業として、製造現場の改善や人材育成、企業文化の醸成を重視してきました。一方で、こうした強みは、数字や文章だけでは伝わりにくい側面もあります。とりわけ個人投資家を含む幅広いステークホルダーに対しては、「何をしている会社なのか」「現場でどのような価値を生み出しているのか」を直感的に理解できる表現が求められます。今回の取り組みは、そうした課題意識を踏まえたものです。

■今回の IR 資料で表現した内容

2026 年 3 月の IR セミナー資料では、製造現場で重視している考え方や、職場づくりに関する価値観を、AI 生成漫画を用いて表現しました。資料内では、「HIRAYAMA がムダを省き知恵を活かす哲学」や、「まとめ:職場が変わる 5 つの鍵(動機づけ、成長と信頼、改善文化、当事者意識、社会貢献)」といったテーマを視覚化し、平山グループが大切にする文化や姿勢を伝えています。こうした表現は、単なる装飾ではなく、企業理解を深めるための補助として位置づけています。



漫画で説明した一例(IR 資料に掲載)

■ IR における新たな表現手法として活用

平山ホールディングスは、IR を単なる業績説明にとどめず、企業の考え方や現場力まで含めて伝える情報開示の場と捉えています。今回の AI 生成漫画の活用も、その一環です。数値やテキストでは伝えきれない要素を補完し、より立体的に企業像を理解してもらうことを目指しました。今後も、適切な情報開示を前提にしながら、伝わりやすさを高める表現手法の研究と実践を進めます。

■株式会社平山ホールディングス:<http://www.hirayamastaff.co.jp/>

- ・社名 :株式会社平山ホールディングス /証券コード 7781(東証スタンダード)
- ・代表者 :代表取締役社長 平山善一
- ・本社所在地 :東京都港区港南 1-8-40 A-PLACE 品川 6 階
- ・創業 :1955 年 12 月
- ・資本金 :5 億 7191 万 4 千円(2025 年 12 月末)
- ・グループ連結売上高:362 億円(2025 年 6 月期)
- ・グループ期末人員数:10,591 人(2025 年 6 月末における契約社員および海外従業員等を含めた就業人員)

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社平山ホールディングス グループ戦略本部 広報 IR チーム

電話:03-5769-4680/FAX:03-5783-3572/E-mail:kouhou@hirayamastaff.co.jp